

## DECIDAMP® SLC

### 粘弾性セルフレベリング制振コンパウンド

Decidamp® SLCは、フローリング用途で使用されるポリウレタンベースの2成分制振コンパウンドで、船舶および海洋産業の構造騒音と振動を低減させる市場要件を満たすために開発されました。

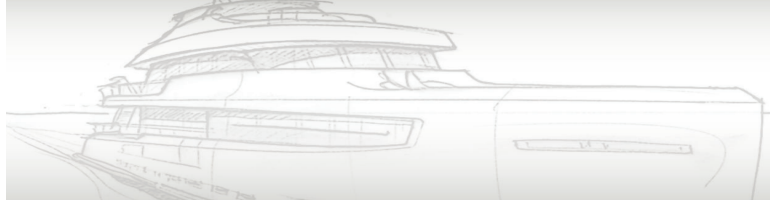
Decidamp® SLC は粘弾性かつ軽量であり、主にさまざまな床材のプライマリデッキ層またはサブ層として使用されます。固有のセルフレベリング特性は、不均一な床面、例えばゆがんだ金属板などを平坦化するのに非常に適しており、シームレスで平らな作業面を形成します。

エンジン、衝撃音、および足音に起因する構造振動は、空中騒音に変換され、しばしば建造物の別の部分で過度の騒音が発生します。粘弾性減衰特性を利用することにより、Decidamp® SLC は構造全体にわたり振動の伝播を効果的に低減します。

Decidamp® SLCを、スチール/アルミニウムデッキまたは不燃性のセメントスクリードの間に使用すると、床材を隔離および遮断することで音響特性を大幅に向上させる拘束層ダンパーのように機能します。

#### 仕様

色	ライトイエロー/ベージュ
提供形態	パートAとパートBで構成される23.5 kgパックで入手可能
	パート A 19.6 kg
	パート B 3.9 kg



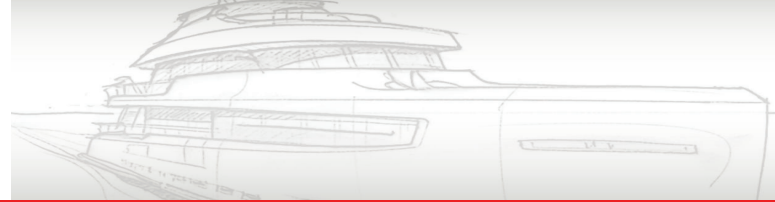
### 用途

- 船舶：甲板で拘束層システムとして振動ノイズと構造伝播ノイズを低減
- 床材の下敷き
- フローリング用途で衝撃音を低減
- シームレスで平らな作業面が必要な箇所にあるゆがんだ金属板などの不均一な表面を平らにするのに最適

### 特長

- 国際海洋防火基準に準拠して試験済み
- 優れた音響および振動減衰特性
- 建造物全体の振動の伝播を低減
- 流れが良く、平坦になる調合
- 金属、アルミニウム、ガラス複合下地への優れた接着性
- 溶剤なし
- 振動による構造的な摩耗/破損を低減
- 屋外での使用にも適している
- 優れた耐炎性と難燃性
- 広範囲の温度および周波数にわたって効果的な制振特性
- 軽量かつ粘弾性
- 高い被覆率、素早い塗布
- 収縮、ひび割れせずに硬化





## 製品仕様

製品	パックサイズ
Decidamp® SLC	パート A 19.6 kg
Decidamp® SLC	パート B 3.9 kg

## 用途特性

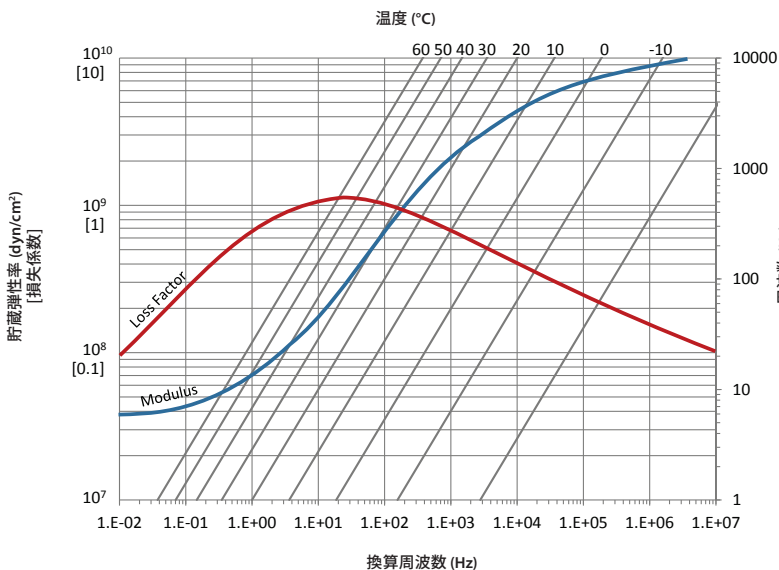
材料	推奨塗布温度範囲 (°C)	可使用時間 25 °C (分)	消費量 (kg/m <sup>2</sup> /mm)	混合密度 (g/cm <sup>3</sup> )	混合比 A:B w/w
Decidamp SLC (混合)	10 - 35	20 - 30	1.10	1.10	5:1
硬化時間	2つの成分が混合されると、25°Cおよび相対湿度35%で30分以内に硬化が始まります。高温多湿では、硬化時間が早まる可能性があります。24時間で完全に硬化します。処理された床は10時間で硬化し、歩行することができます。				
保管	10~45°Cで保管します。消費期限は商品を受け取ってから24か月です。				

## 材料特性

試験方法	特性	レポート	結果
*IMO FTP 附則 1 パート 5	表面の可燃性	337240	主要なデッキカバーとフローリング用途に適しています。USCG型式認証付与。
*IMO FTP 附則 2	煙と毒性		
MED B	船用機器指令のEC型式証明書 (モジュールB)	164.106/1121/WCL MED0417TE	
MED D	船用機器指令のEC型式証明書 (モジュールD)	MEDD000015N	
*TP 14612の要件に対するDNV-GL型式認証およびカナダ運輸局の型式認証	カナダ運輸局およびDNV-GL型式認証	F-21137	海洋基準、SOLASに準拠し、カナダ運輸局に認定

\*Weber.floor 4660などのセメント層と組み合わせて試験した場合。(二次層のセメントコンパウンドの詳細については、当社のウェブサイトの情報ページ「Weber.Floor4660」を参照してください)

## 音響性能



ISO 6721-5:1996について試験

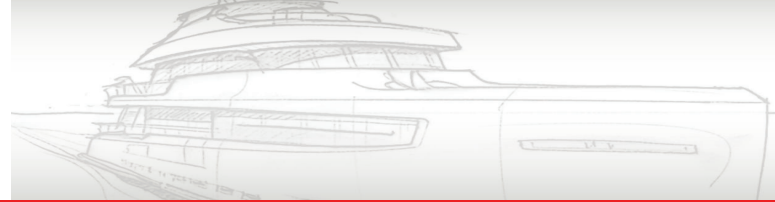
レポート番号:12716AR5

### 換算周波数ノモグラムの読み方:

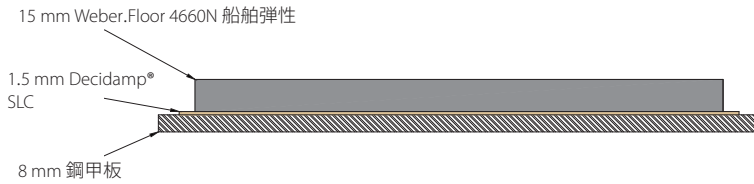
- 最初に右側の垂直軸で周波数 (Hz) を選択します。
- この値から水平方向左に向かって、斜めの温度等温線が交差する場所まで、移動します。
- 周波数と等温線の交点を通る垂直線を引き、この線が弾性率曲線と損失係数曲線と交差する点を見つけます。
- これらの点から左側の垂直軸に向かって水平線を引き、値をそれぞれ読み取ります。

メモ:Decidamp® SLC のみの性能。

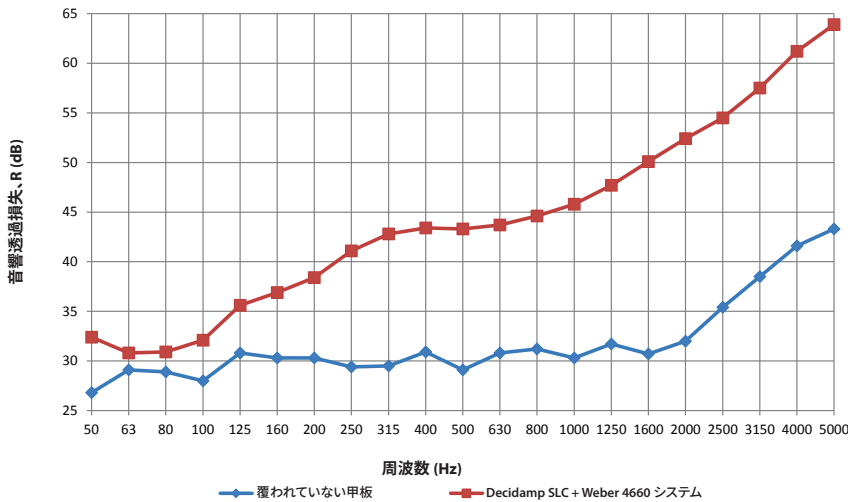




## システム音響性能



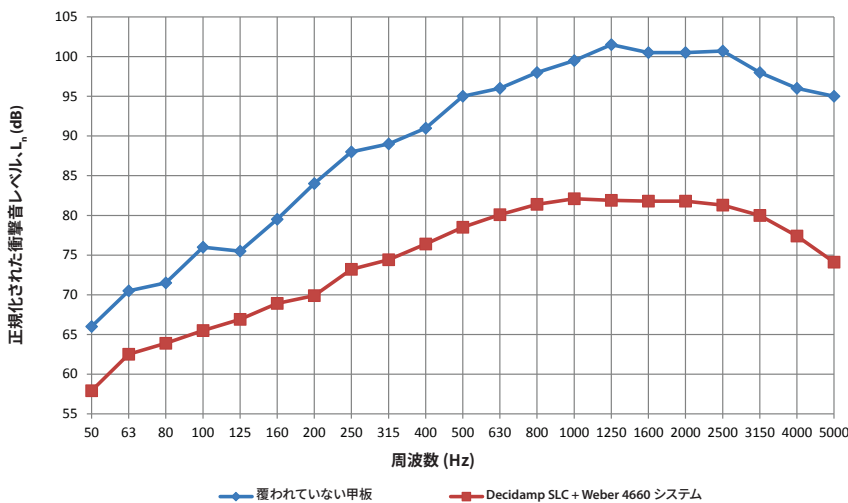
空中騒音の遮断



レポート番号:15.4165

ISO 10140-2に従って測定。このデータは、デッキシステムの遮音性を表し、隣接するスペース間の騒音低減を評価するために使用されます。

衝撃音の遮断



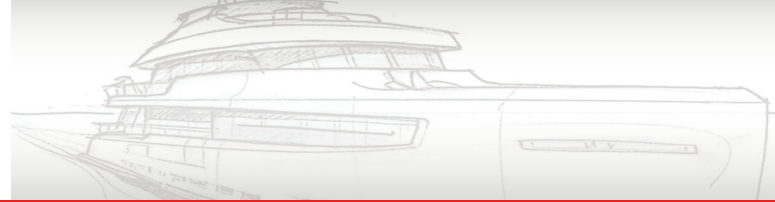
レポート番号:15.4165

ISO 10140-3に従って測定。このデータは、デッキシステムの下への反響室の衝撃音圧レベルを表し、歩行またはその他の人間の活動による騒音の低減を評価するために使用されます。

周波数 (Hz)	Decidamp SLC + Weber 4660 システム
50	32.4
63	30.8
80	30.9
100	32.1
125	35.6
160	36.9
200	38.4
250	41.1
315	42.8
400	43.4
500	43.3
630	43.7
800	44.6
1000	45.8
1250	47.7
1600	50.1
2000	52.4
2500	54.5
3150	57.5
4000	61.2
5000	63.9
STC	48
Rw	48
C	-1
Ctr	-4

周波数 (Hz)	Decidamp SLC + Weber 4660 システム
50	57.9
63	62.5
80	63.9
100	65.5
125	66.9
160	68.9
200	69.9
250	73.2
315	74.4
400	76.4
500	78.5
630	80.1
800	81.4
1000	82.1
1250	81.9
1600	81.8
2000	81.8
2500	81.3
3150	80.0
4000	77.4
5000	74.1
Ln,w	87
Cl	-11
dLm	19

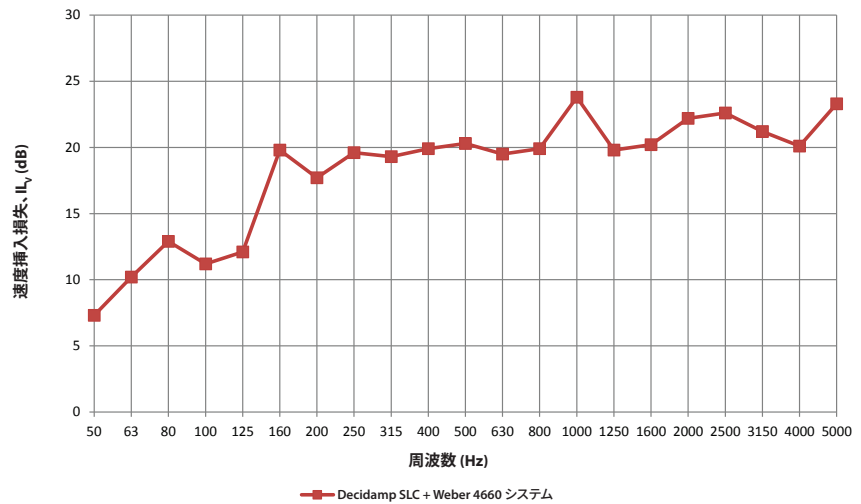




## システム音響性能

周波数 (Hz)	Decidamp SLC + Weber 4660 システム
50	7.3
63	10.2
80	12.9
100	11.2
125	12.1
160	19.8
200	17.7
250	19.6
315	19.3
400	19.9
500	20.3
630	19.5
800	19.9
1000	23.8
1250	19.8
1600	20.2
2000	22.2
2500	22.6
3150	21.2
4000	20.1
5000	23.3

速度挿入損失

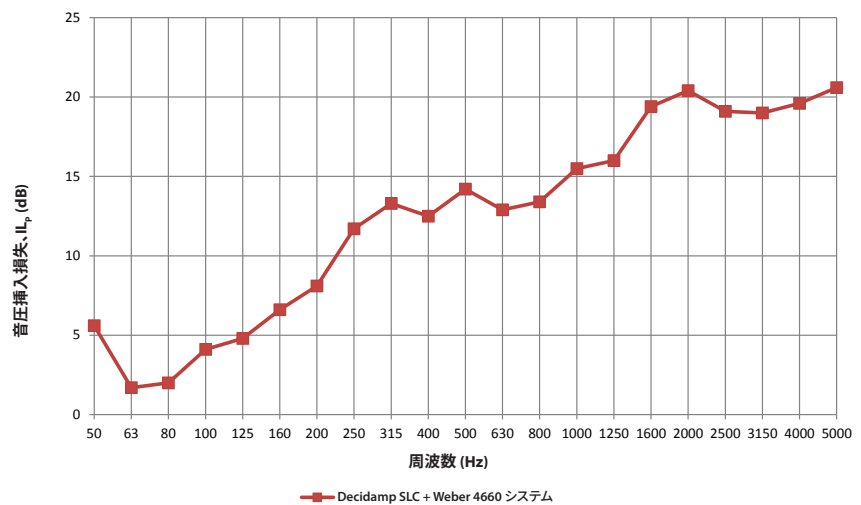


レポート番号: 15.4165

このデータは、床材の設置前にむき出しの鋼製デッキで測定された速度レベルと、塗布されたシステムの上で測定された速度レベルとの差を示しています。挿入損失値は、床の覆いの結果としての構造物伝播速度レベルの低下を評価するために使用されます。

周波数 (Hz)	Decidamp SLC + Weber 4660 システム
50	5.6
63	1.7
80	2.0
100	4.1
125	4.8
160	6.6
200	8.1
250	11.7
315	13.3
400	12.5
500	14.2
630	12.9
800	13.4
1000	15.5
1250	16.0
1600	19.4
2000	20.4
2500	19.1
3150	19.0
4000	19.6
5000	20.6

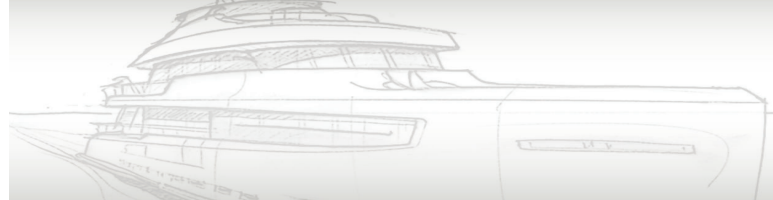
音圧挿入損失



レポート番号: 15.4165

このデータは、床の覆いを設置する前に受け入れ室で測定した音圧レベルと床の覆いを塗布した後に測定した音圧レベルとの差を表します。挿入損失値は、床の覆いが引き起こした空中音圧の低下を評価するために使用されます。

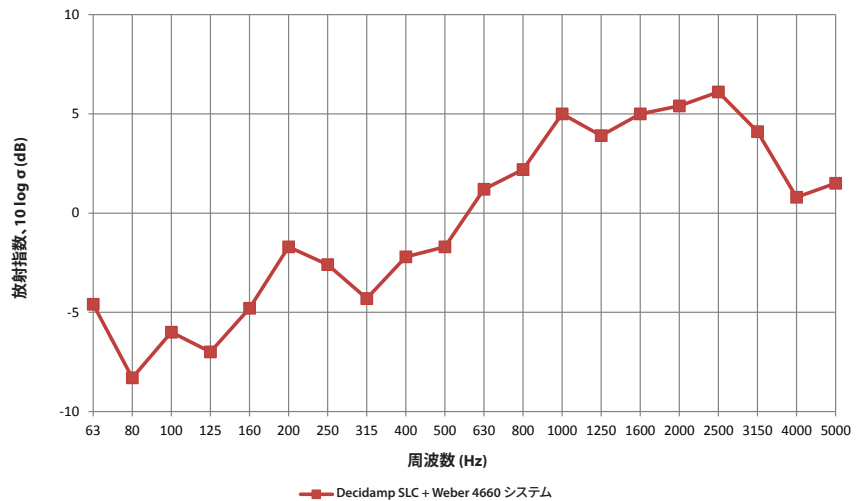




## システム音響性能

周波数 (Hz)	Decidamp SLC + Weber 4660 システム
63	-4.6
80	-8.3
100	-6.0
125	-7.0
160	-4.8
200	-1.7
250	-2.6
315	-4.3
400	-2.2
500	-1.7
630	1.2
800	2.2
1000	5.0
1250	3.9
1600	5.0
2000	5.4
2500	6.1
3150	4.1
4000	0.8
5000	1.5

放射指数



レポート番号:15.4165

放射指数は、電気力学的加振機を使用して、その定義式に従って測定されます。これは振動する床が音を放射する能力を表します。したがって、一般的に言えば、高い放射指数は高い騒音レベルを意味し、その逆も同様です。ただし、実際には、騒音レベルは速度レベルと放射指数の組み合わせによって決まります。この関係は、速度レベルがわかっている空間の総騒音レベルを評価するために使用できます。

さらに詳しい情報と  
連絡先詳細について  
は、弊社のWebサイト  
[pyroteknc.com](http://pyroteknc.com)をご覧ください。

補足説明: 仕様は予告なく変更される場合があります。この文書のデータは、独立した研究機関またはメーカーによる試験結果に基づいた平均値の代表例であり、あくまでも目安です。使用目的に対する適正を判断するには、意図した使用条件で材料を試験してください。音響試験結果により得られた結論は、独立認定試験機関が導き出したものです。この文書の記載事項により、購入者またはユーザーが、プロジェクトの必要性に関して製品適正判断の責任を免除されるものではありません。メーカーによって示されたデータについては、必ず音響技術者または機械技術者の意見を求めてください。個別のプロジェクトは多岐にわたるため、Pyrotek は、製品の使用結果が異なっても責任を負いません。Pyrotek は、示されている情報に頼った結果により生じる損害または間接損害については、責任を負いかねます。この情報の使用またはこの情報ページが言及する製品、プロセス、または装置の使用が第三者の特許や権利を侵害しないことを保証していません。免責事項: この文書には、Pyrotek の標準免責事項、保証および著作権条項が適用されます。 [pyroteknc.com/disclaimer](http://pyroteknc.com/disclaimer) をご覧ください。

